

ファンティックとコルデンホフ、シーズン開幕をトップ5でスタート



待ちかねていた開幕戦。FIM 世界選手権モトクロスが新装されたアルゼンチンはコルドバで開幕した。グレン＝コルデンホフとアンドレア＝ボナコルシの二人はファンティック XXF450 をプレミア・クラスのトップ9に導くスタートを飾ったのである。

グレン＝コルデンホフは計測予選で5位に入るスタートを切った。経験豊かなオランダ人ライダーは予選ヒートで6位に入賞。日曜日の決勝に向け、いいスタート位置を選べるポジションを獲得した。彼のチームメイト、アンドレア＝ボナコルシとブライアン＝ボガースは12位と13位に連なり、とりわけ“BB189”ことボガースは計時予選では6位に食い込むスピードを見せていたため、決勝に期待を残していた。

モトクロスではいつもスタートが重要だ。ここでのわずかなマージンが、その先の大きな違いを生むことは間違いない。ファンティック・ファクトリーレーシング MXGP のトリオはいずれもレース1のスタートをうまく

支配できず、出遅れてしまった。コルデンホフはそれでも素早く 10 位まで順位を回復。ペースをつかむとレース後半には激しく上位を負い、最終的にはファンティック XXF450 を 5 位に持ち込んだ。ボナコルシはトップ 10 まではうまく"ザ・ホフ"に食いついて行ったもののそこで転倒を喫し最終的に 11 位。ボガースは 14 位でレース 1 を終えた。

レース 2、コルデンホフはまたもファンティック・チームをリード。激しく上位を負い、8 週目には 6 位にまで順位を上げた。そこで転倒を喫し 11 位まで落ちたものの、再びチャージして 7 位に食い込み、総合 5 位を獲得、貴重なポイントをものにしたのである。ボナコルシはレース 1 に続いて全力を尽くして 10 位、総合では 9 位を得たが、ボガースはスタートで中団に埋もれ、17 位に終わり当初の目論見からは大きく遠ざかる結果となってしまった。

大きな目で見れば、2 台のファンティック XXF450 がトップ 10 圏内を走った今回のレースは、1 年間の長きを戦うシーズンのスタートとしては悪くない結果といえるだろう。この先、多くの可能性と改善のネタも得ているからだ。アルゼンチンは 20 戦もの MXGP の初戦に過ぎず、4 大陸 19 戦を残すファンティック・チームはまだまだ希望にあふれている。次戦は 2 週間後、スペインで迎えることになる。

グレン=コルデンホフ:手堅い週末だったね。こういうスピードの出るコースは決して得意ではないんだけど、今回は十分に楽しめた感じだよ。2 ヒートともスタートはいまいちだったけどね。でもあるべきポジションに戻すことはできたし、まあ悪くはなかったはず、、、ただ、レース 2 でのクラッシュはいただけなかったね。ちょっと前を追うのに焦っていて、フロントを失ってしまった感じなんだ。でも立ち上がったからは熱くなってシャカリキに前を追ったんだよ。ペースをもう一度つかむまで 2 周ほどかかり、もうちょっとで 6 位まで手が届きそうだったんだけど間に合わなかった。とはいえ 5-7 で総合 5 位なんだから悪くはないといっていいだろう。目標は常時トップ 5 にいることだったし、それを果たせる十分なスピードがあることが確認できたからね。スタートをとにかく改善しなくちゃ。それでレースはずっと楽になるはずなんだ。



アンドレア=ボナコルシ：

初戦は終わったけど、シーズンは長い。この週末を通じて、アルゼンチンのコースでの多くの改善を果たすことができたから、総合9位は前向きな結果とっていいと思うよ。この2週間のインターバルを使って、スペインに向けてもう一仕事すればきっともっとよくなるはずさ。



ブライアン=ボガース：

土曜日はよかったんだけど、日曜日にはそれが出せなかった。結果から言えば、僕らが望んでいたものには程遠いっていいだろうね。今でこそマシンとの相性はよくなってきているけど、10日ほど前、手ひどいクラッシュを負ってしまったところだったんだよ。体調には問題ないんだけど、乗り込む時間が足りなかったんだ。次に向けて、走りこまなくちゃね。

